

第五十六回
帝國議會
貴族院

競馬法中改正法律案特別委員會會議事速記録第二號

昭和四年三月二日(土曜日)午前十時四十分開會

○委員長(侯爵四條隆愛君) 只今カラ競馬

法中改正法律案ノ委員會ヲ開キマス

○大津淳一郎君 今日ハ陸軍ノ政府委員ノ

方モ居ラシヤッテ居ルヤウデアリマスカ

ラ、一寸質問イタシマス、此法案ノ改正ノ

理由トシテハ、走馬ガ著シク増加シタ、ソ

レガ爲ニ開催期日ノ延長ヲシ、サウシテ法

人ノ數ヲ増加シタ、從ッテ負擔力モ増シタカ

ラシテ納付金ノ率ヲ増加スル、走ル馬ガ著

シク増加シタト云フコトダケガ本案ノ提出

ノ理由デアリマス、其外ニ何等ノコトモア

リマセヌ、扱テ此走馬ノ増加シタト云フコ

トニ付テ、陸軍ノ方面カラ見レバ軍馬ニ非

常ニ效能ガアルモノデスカ、當リ前ノ現在

十一ノ競馬場ハ皆平ノ競馬場ト聞イテ居リ

マス、平ノ競馬場ニ於テ馬ガ速ク飛ビ歩ク

ト云フコトニナルト陸軍ハソレデ軍馬ノ目

的ヲ達スル、朕一人千里ノ馬ニ乗ッテ何レ

ニ行クカ、馬バカリドシ、走ッテ一人行ッ

タラ、アトノ兵卒ハ仕方ナクナッテシマフ

ガ、此現在ノ走馬ガ多クナッテ競馬場ノ效果

ガ、陸軍ノ軍馬育成ニドレダケノ貢獻ヲス

ルカ、陸軍デハ斯ウ云フ馬ガ澤山出來ルコ

トヲ望ンデ、是デ目的ガ達スルト思フノデ
アルカ、斯ウ云フ馬サヘ澤山出來レバ宜イ
ト思召スカドウカ、伺ヒタイ

○政府委員(植田謙吉君) 競馬法改正以來

ノ實地狀況ヲ見マスルト、此改正競馬法ニ

依リマシテ、實施サレタ成績ハサウ效果ノ

アルモノト私ハ思ッテ居リマセヌ、唯競馬ノ

年初ヲ經ルコト僅カ五年デアリマシテ、競

馬ノ始マリマシタ其後、種付ヲシタト云フ

馬ハ漸ク昨今ニ至ッテ軍隊ニ補充シタ、斯ウ

云フ實況デアリマスカラ、今直ニ是ガ軍馬

トシテ實際活動スル迄ニナッテ居リマセヌ、

從ッテ此成績ヲ數字ノニ申上ゲルコトハ少

シク困難デアリマス共ニ、又少シク過早

ノヤウデハナイカト思ッテ居リマス、段々

良イ馬モ出テ參リマス、一方ニ於キマシテ

ハ之ニ刺戟ヲサレテ外國カラモ良イ馬ガド

ンノ這入ッテ來ル、又其刺戟ニ依ッテ馬産

地方ヲ發達サシタコトモ非常ニアル、ソレ

ニ依リマシテ色々育成法モ改良ヲ加ヘル技

術ガ進歩シテ、此刺戟ニ依ッテ色々馬ニ對シ

テ效果ヲ與ヘテ居ルコトハ見エテ居リマ

ス、又之ニ伴ヒマシテ多少弊害ノアルコト

モ思ッテ居リマスガ、大體ニ於キマシテ效果

ヲ舉ゲツ、アルモノト私ハ思ッテ居リマス

ガ、先程御質問ニナリマシタ此平地ノ競
争、是ノミノ馬デ満足スルカト云フ御質問
ニ對シマシテハ、満足スルモノデナイト云

フコトヲ申上ゲテ置キタイと思ヒマスルト

同時ニ、ソレガ最モ根據トナリマシテ今回

ノ競馬改正ハ「アングロアラブ」、竝ニ中間

種等ノ競馬ヲ獎勵シマシテ、ソレヲ實地ニ

依リマシテ實際軍事ニ極メテ適當ナル馬ヲ

鍛鍊シ増殖シヤウト云フコトガ今回ノ競馬

法ノ改正ノ重大ナル理由ノ一デアリマシ

テ、而シテ又軍部ト致シマシテ、今回ノ改

正法ニ熱烈ナル賛成ノ意ヲ表スル主ナル理

由ハ其處ニアルノデアリマス

○大津淳一郎君 只今ノ御説明ニヨレバ、

此走馬バカリデハイケナイノデ、今回ノ改

正案ニ陸軍省ガ賛成シテ居ルノハ、何トカ

ト……何トカ云フモノヲソレヲ養成シテ行

クノガ今回ノ改正案ニ賛成スル所以ダト云

フ御話デアリマスガ、ソナコトハ是ハ茲ニ

ハ見エナイノデアリマス、唯走馬ガ著シク増

加シタト云フ話デ、走馬ト云フノハ、現在

ノ十一ノ競馬場ニ於テ駈ケ歩ク馬ヲ殖ヤ

ス、斯ウ云フダケノ説明デ是モ必要ダケレ

ドモ、更ニ斯ウ云フ駈ケ歩ク馬ノ中ニモ外

ニ軍馬ニ適當シテ居ルヤウナ馬ヲ養成シタ

イカラ殖ヤスト云フコトハ、茲ニ是モ歌ッテ
居ル説明デハナイ、今御説明ノアルダケノ
話デアル、御説明デモ宜シウゴザイマス、

之ニ書イテナイ、陸軍デ要スルモノハ、走

リサヘスレバ宜イノデスカ、然ラバ力ハ無

クトモ……騎兵ナド馬ガ走り過ギテモ山ノ

中ヤ敵ノ中ニ飛込シテモ仕方ガナイ、又鐵

砲ヲ引イテ歩クノハ駈ルバカリデ腰骨ガ

弱ッテハ鐵砲ガ引ケナイと思ヒマス、平ナ所

ヲ駈ケル奴ハ馬ノ種類ガ違フ、陸軍ノ希望

ハ走ル馬デサヘアレバ宜イ譯デハナイト云

フ御説明ノヤウデアリマスガ、其邊ノ所ヲ

極ク素人デスカラ能ク吞ミ込メルヤウニ御

聽カセ下サルヤウニ……

○政府委員(植田謙吉君) 大體ニ於キマシ

テ今御質問ニナリマシタコトハ極メテ重要

ナコトデアリマシテ、又大體ノ御趣意ノ駈

ケル馬バカリデハ宜クナイデアラウト云フ

コトハ、極メテ我々ノ考ヘテ居ル所ニ適應

シタ御議論デ大イニ敬意ヲ表スル所以デア

リマス、只今モ御話シゴザイマシタガ、詳

シク説明ヲシロト云フ御質問デゴザイマス

ガ、併ナガラ少シ諄クナルカ存ジマセヌ

ガ、又馬ニ付キマシテ御勤能ノ方ニハ、

ソナコトハ分ッテ居リマスカラ釋迦ニ説

法ニナルト云フ感ジガアルカモ知レマセヌガ、多少詳シク申述べテ見タイト思ヒマス、最モ的確ニ、最モ適切ニ如何ナル馬ガ軍馬トシテ必須ノ性能デアアルコト云フコトヲ、事實ヲ以テ證明イタシマシタノハ最近ノ歐洲大戰デアリマス、此歐洲大戰ガ管ニ多數ノ人ヤ多數ノ馬ガ出テ長期間交戦ヲシタト云フ、在來ノ戰闘法ガ大規模ニ於テ持續サレタト云フノミデナシニ、色々ナ新兵器、ソレニ伴ヒマスル所ノ新戰術ト云フヤウナモノガ、此歐洲大戰ニ於キマシテ實施サレマシタ關係上、從來デモ斯ウアルベシトハ考ヘテ居リマシタガ、此馬ニ對スル要素ト云フモノガ今度ノ歐洲大戰ニ於キマシテ、斯クアラネバナラスト言フコトニ付キマシテノ殆ド決定的結論ヲ得タトモ言ヘルト思フテ居リマス、其結論トシテ得タ所ハ、第一ニ何デアアルカト申シマスレバ、從前モサウデアリマスガ、ドウシテモ性質ノ溫順ナ馬デナケレバナラス、素直ナ馬デナケレバナラス、其次ハ强健デ持久力ニ富マナケレバナラス、强健トカ持久力ト申シマスコトモ、之ヲ細カク分ケマスト耐久能力、即チ走ル力トカ云フ方面ノ長驅ノ持久ト、外來ノ寒暑ニ對シマシテ非常ニ病氣ニ罹ラヌトカ云フヤウナ持久ト云フ方面モ加ハリマセウガ、要スルニソレヲ合致イタシマシテ、速力等ニ於キマシテモ瞬間的ニ短距離

ヲ急速力デ走ルト云フヨリ、一日朝カラ晩マデ歩イテモ弱ラヌ、數日動イテモ弱ラヌト云フコトガ、前ヨリ非常ニ必要ニナッテ參ッテデアリマス、前ニハ騎兵ノ襲撃ナドハ偉大ナル速力ヲ以テ敵ニブツカルト云フコトデ、是ニハドウシテモ非常ニ速力ガ入リマシタガ、襲撃ト云フコトモ目下ノ狀態ニ於テハ瞬間的速力ト云フヨリハ持久的速力ト云フコトガ必要ニナッテ參リマシタ、是モ申ス迄モナイコトデゴザイマスガ、例ノ飛行機ガ盛ンニ行ハレル場合ニ於キマシテ、ドウシテモ晝間ノ行軍ハムヅカシイ、晝間行軍スル場合ニハ森林ノ中デアルトカ、隱蔽サレタ所ヲ行軍シナケレバナラス、ソレニシテモ尙ホ敵ニ曝露スル虞ガアリマスカラ夜間ニ行軍ヲシナケレバナラス、斯ノ如クナリマシテ夜間ニ於ケル不整地ノ運動ト云フヤウナモノガ目下ノ戰闘狀態ニ於キマシテハ昔ヨリ非常ニ殖エタ、我我ノ如ク寧ろ劣勢ナル飛行機ヲ有テ居ル國トシマシテハ、將來ノ運動方法ハ或程度マデ夜間運動ヲシナケレバナラスト思フ位デアリマス、又正面ガ機關銃ヤ何カデ堅固ニナリマシタ關係上、ドウシテモ廣ク運動ヲシナケレバナラス、取分ケ日本ノヤウナ兵力ノ少ク整備ガ不十分ナル軍隊ヲ以テマシテ必勝ヲ期サムトスレバ、兵力ノ移轉、コチラニアッタモノガ急ニ引ツ繰返シテコ

チラニ向キ、敵ノ不意ニ出ルト云フヤウナ奇動ヲ用ヒマシテ、功ミナル兵力運用ニ依テ勝ヲ制スルト云フヤウナコトガ非常ニ必要ニナッテ來タ、是ハ日本ノ陸軍ガ特ニソレヲ必要トスルト云フコトデ、大體ニ於キマシテ飛行機ノ發達ト云フヤウナコトカラ此持久能力、取分ケ不整地等ヲ行進スル場合ニ踏張ノ強イ、根コガ出タリ旦々デナイ所ヲ歩キマシテモ滑リコケナイ、踏張リノ強イ馬デナケレバナラスト云フコトガ證明サレタ譯デアリマス、今申シマス通りニ夜モ盛ンニ動カケレバナラス、サウシテ奇動ヲ盛ンニシナケレバナラスト云フコトニナリマスレバ、自然的ニ馬ノ管理、飼養ト云フコトガ十分ニ參ラナイ、夜ハ馬ヲ十分ニ休息シテ飼養ヲ與ヘマシテ保護スルト云フコトガ出來ナイ、又十分ナル飼糧モ適宜給與スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フヤウナコトニナリマシテ、所謂管理、飼養ガ容易デナイノデアリマシテ、不味イモノヲ食ハシテ置イテモ續ク、甘イモノヲ食ハセナケレバ動ケナイト云フコトデナシニ極ク粗笨ナル管理方法ヲ採ッテモ容易ニクタバラナイ、斯ウ云フ性格ヲ有テ馬ガ欲シイ、運動ノ柔順トカ云フヤウナコトモ含ミマス、ソレト共ニ是等ニ伴ヒマシテ體軀ノ上カラ見マスルト、餘リ丈ノ高イ馬デハ具合ガ惡イ、人間モ馬モ同ジデアリマスガ、丈ガ高イモノハ

ヒヨロ高クナル、又丈ガ高クテサウシテ肉附ガ宜クアリマス重量ニ過ギル、重クナリ過ギテ活動ガ鈍イ、自分ノ體重量ノ爲ニ自分ノ體ヲ壞ス、斯ウ云フコトニナル、併シ砲兵輓馬ニ於キマシテハ相應ノ體重ガナケレバナリマセヌ、ト云フノハ體ノ適當ナル重サヲ有ッテ居リマスル馬ハ、自分ヲ動カスカケデ車ガツイテ來ル、餘リ輕イ馬デアルト自分ノ體ヲ動カスカ以外ニ特ニ重サヲ引張ルト云フ筋肉ノ力ヲ使ハナケレバナラス、自然ニソレダケ早ク筋肉ガ損傷スル、即チ適當ナル體重ガナケレバナラス、其體重ヲ前申シマシタヤウナ要素ト併セマスト、丈ガ高クナケテ相應橫幅ノアル持久力ノアル馬ト云フ結論ニナル譯デアリマス、ソレデ是等ノ馬ノ性格ヲ保持シテ居ル馬ハソレデハ何デアアルカト申シマス「アングロアラブ」アタリガ最モ適當シテ居ル、即チ佛蘭西邊リニ於キマシテモ戰後ノ結論ト致シマシテ「サラブレッド」ニモ長所ガアル、各長所ガアリマスガ、乘馬ト致シマシテハ「アングロアラブ」ガ適當デアルト云フコトハ戰後陸軍當局ガ發表致シマシタ書キ物ニモ書イテアルコトデゴザイマス、即チ斯ウ云フ風ニ唯ダ短距離ヲ早ク走ルト云フヤウナ馬デナク、今申シマシタヤウナ各種ノ性能ヲ有テ馬ガ陸軍トテシハ極メテ便利デアリ、極メテ必要デアル、而シテソレニハ

「アングロアラブ」ト云フ馬ガ最も其性格ヲ有テ居ル、「サラブレッド」モ勿論長所ガアリマシテ、戰役等ニ於キマシテモ是又相應ノ働キヲ爲シテ居リマスガ、佛蘭西ノ馬政當局邊リガ發表シマシテ意見ニ依リマシテモ「サラブレッド」モ優秀ノ成績ヲ現ハシテ居リマスケレドモ、是ハ吾人ノ希望スル所ノ體型ヲ有テ所ノ馬ガ宜イ、餘リ高過ギタリ短カスギル馬デハイケナイ、而シテ其體軀ヲ有テ居ルノハ「サラブレッド」デハナイ、併シハ特殊ノ用途ニハ極メテ適當デアル、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、所ガ斯ウ云フ目下ノ馬ノ要求ハサウデアリマス、サウ云フヤウナ種類ノ馬ガ殖エルト云フコトハ軍事上ノ要求デモ極メテ必要デアリマスト共ニ、又民間使用ニ付キマシテモ、前申シマシテ性格ノ馬ハ普通ノ使役トシマシテモ便利デアル、決シテ惡イ馬デハナイ、兩々相併立シマシテ行キ得ルモノト解釋シ得ルト思ヒマス、所ガ目下ニ於キマス我軍馬ノ狀況ハドウデアアルカト申シマス、遺憾ナガラ此希望條件ニハマダ一屆キ難イ點ガ多イヤウニ私共ハ考ヘルノデアリマス、過去……明治ノ三十年來ニ於キマシテ、日本ノ軍馬ハ猛獸デアルトカ批評サレマシタ時今日ニ比ベマスレバ、其官民ノ各面ノ努力ニ依リマシテ偉大ナ進歩發展ヲ致シマシテ、殆ド隔世ノ觀ガアルガ如キ、外見上カラ見マスルト改良ガ遂デラレマシタ、或ル一部ノ人ニハ是ダケ馬ガ宜クナレバ、モウサウ馬ノコトハ、喧クシ云ハヌデモ宜イデヤナイカト云フ意見モナイデハナイノデアリマスガ、是ハ所謂皮想ノ見デアリマシテ、此實質ト云フコトヲ考ヘマスルト、マダマダ改良シナケレバ、先キ申上デマシタ軍馬トシテノ性能ニ相距離コトガ大分遠イト云フコトヲ我々共考ヘテ居ルノデアリマス、テヨット一例ヲ申上デマス、是ハ軍馬バカリデハアリマセヌガ、東京邊リデ使ヒマス、荷馬車アタリデモ随分損ジ方早ク、一年若クハ一年半デ使ヘナクナル馬モ相當澤山アルヤウデアリマス、要スルニ體ガ弱イ、併シハ使ヒ方ガ惡イノデアルト云フコトカラデアルト云フノデアリマスレバ、假ニ一歩ヲ譲リマシテ、是ガ單ニ馬ノ非薄ト云フコトニノミ歸セラレナイト云フコトニナリマスレバ、今度ハ軍馬トシマシテ、二才カラ除ニ入りマス間迄モ合理的育成ヲシ、又除ニ於キマシテモ合理的ニ訓練シ、鍛練シテ居リマスル除馬ノ狀況ヲ考ヘテ見マス、是亦數字のニ申シ得マスルガ、先ヅ大體ニ申シマスルト日本ノ軍馬ニハ老齡馬ガ少ナクテ比較的若齡馬ガ多イ、モウ一層詳シク申セバ十二三才以上ノ馬ガ少クシテソレ以下ノ馬ガ多イ、要スルニ二十才以上ニナリマシタナ

ラバ、馬ハソレ以上ハ長續キヲシナイガ爲ニ、ドンノ若イ中カラ出テ行カナケレバナラヌ、我々ノ方ノ軍馬ノ補充ハ大約假リニ先ヅ十年續クモノト致シマシテ、ソレデ年々十分ノ一ツ、新ラシイ馬ヲ入レテ、ソレデ總數ノ十分ノ一ヲ吐キ出スト云フヤウナ割合ノ比率ニナッテ居リマス、是ガ完全ニ馬ガ能ク育テ丈夫ニ行キマスノナラバ、年々出マスモノヲ假リ二十分ノ一ト致シテ居マスガ、十分ノ一出ルトシテ、五才デ這入リマスノデ、十五才カ十六才ノモノガ十分ノ一出テ來ルト云フコトニナレバ、皆丈夫ダト云フ譯ニナリマス、年限ガ來タラ、隊カラ除役シマス、即チ民間ニ出マス馬ヲ見マスト年齡ガ來マシテ出ルト云フモノハ、出ル馬數ノ約三十分ノ一デアリマシテ後ノ七十「パーセント」ハ、年齡ガ到達シナイ若イ馬ガ出ルト云フ狀況デアリマス、換言イタシマスレバ早ク日本ノ馬ハ弱ル、斯ウ結論シ得ルト思ヒマス、尙ホ現況ヲモウ一ツ附加ヘマス、馬ノ丈高イ馬モ日本ノ軍隊ニハ少シク多過ギマス、是モ購買方法ニ依リマシテハ二才カラ買ヒマスルノガ大分多イノデ、適當ナ體ニナルト思ヒテ居リマシタノガ大キクナリ過ギタト云フノガアリマスカラ、絶對ニ日本ノ馬ガ大キイ結果トモ申シマセヌガ、併シ大體ニ於キマシテハ丈ガ少シ高イガ、此馬ヲ採ラヌトドウモ數ノ補充

ガ出來ヌト云フ關係ガ、多分ニ含マレテ居ル、其過高馬ガ、丈ノ高過ギル馬ガドレ位アルカト云フト、目下約二十六「パーセント」デア、少シ高過ギル馬デア、斯ウ云フ風ナ目下ノ軍馬ノ實情デアリマシテ、丈ノ高イノハ別ト致シマシテモ、大體ニ於キマシテ早ク馬ガ斃バツテシマフ、年寄ル迄續カナイト云フノハ、要スルニ極メテ概括的ニ申シマスレバ馬ノ體ガ菲薄デア、弱イノデア、羸弱デア、斯ウ申上デナケレバナリマセヌ、申シマスルノハ隊カラ外ヘ出テ行キマス馬ノ五十「パーセント」ハ脚、蹄ニ故障ノアル原因ノ爲ニ除役ニナリマス馬ガ多イト云フ一事ヲ以テモ、證明サレテ居ルノデアリマス、是等ノ菲薄ト云フコトノ原因ハ何處ニアルカト申シマスルト、端的ニ申シマスルト、是ハ其馬ノ親ガ弱カッタ、即チ本來其馬ノ系統ガ弱カッタ、親ガ弱カッタカラ子供ガ丈夫デナイ、其弱カッタ原因ハ何ニアルカト申シマスルト、斯ノ如キ體力菲薄ト云フコトハ、弱イト云フコトノ主モナル原因ハ、矢張り親ノ鍛練ガ足リナカッタ、親ノ體ガ丈夫デナカッタ、其原因ハ親ノ鍛練ガ足リナカッタト云フコトニ結論出來ルト私ハ思フノデアリマス、即チ此馬ヲモット丈夫ニ致シマス爲ニハ、ドウシテモ父馬母馬ヲモット鍛練イタシマシテ、丈夫ナ馬ヲ拵ヘテソレカラ丈夫ナ子供

ヲ產ミ出サスト云フ所迄行カナケレバナナ
ナイ、斯ウ私共ハ考ヘテ居リマス、其鍛練
ヲスル爲ニハ色々ノ方法ガアリマスガ、民
間種馬邊リハ自分ノ所デ相當ノ種牡馬ヲ持
チマシテ合理的ニ管理ヲ加ヘルト云フコト
ハ、中々困難ト思ヒマスルガ、此母方ノ雌
馬ヲ鍛練スルニハ、競馬ガ一番宜イ、ソ
ナ競馬ニ依リマシテ鍛練サレマシタ、立派
ナ馬ガ今度ハ立派ナ母馬トナリ立派ナ子供
ヲ父馬母馬トナッテ、立派ナ馬ヲ拵ヘ上
ル、其父馬母馬ハ其大キサトカ性格トカ云
フコトニ付キマシテハ、前申上デマシタ、
軍馬ノ要求ニ合致シ、持久力ヲ持テ、軍馬
ノ必須性能デアル所ノ性能ヲ持テ得ルヤウ
ニ鍛練サレナケレバナラヌ、ソレニハ短距
離ノ疾走ノミヤッテ居ッテハイカヌ、ドウシテ
モ負擔量ヲ増シ距離ヲ増シ、ノミナラズ一
方ニ於キマシテ前申シマシタフン張ル力ヲ
養成シマス爲ニハ、單ナル長距離ノミデナシニ、
寧ロ斜坂ヲ上ルコトニ依テ、馬ノ脚力ヲ養
成シ内臟ヲ強クスル、又一方ノ疾走ノミ
デナクハ文字形ヤ尙一層ソレヲ増シテ所謂
不齊姿ノ運動、障害モ跳バスト云フ風ニシ
マス、斯ノ如クニシマシテ初メテ、本當ノ
軍馬必須ノ性能ヲ備ヘタ鍛練飼育ガ出來ル
ト思フノデアリマス、斯ウ私共ハ思ヒマス、
即チ競馬ガ、鍛練ノ最上手段デアルガ、其
競馬ノ遣リ方モ軍馬必須ノ性能トシテノ性

格ヲ備ヘテ居ルヤウニ鍛練ヲサレルヤリ方
デナケレバナラヌ、而シテ之ニ當テルニハ
一方カラ申シマスモ馬種ノ上カラ申シマス
レバ、「アングロ、アラブ」當リガ極メテ適當
デアル、尙ホ所謂中間方面ノ馬モ相應澤山
居ルノデアリマスカラ、是等モ鍛練ヲシナ
ケレバナリマセヌ、其鍛練トシテ矢張り持
久的ノ能力ヲ養成スルト云フ意味ニ於キマ
シテ、單ニ乘リマシタリ速足競馬ヨリハ車
ヲ輓イタ速足競馬ノ方ガ宜イ、其車モ輕イ
ノデナク成ベク重イ方ガ宜イト云フコト
デ、ソシテ持久ノ能力鍛練助長ト云フコ
トニシタイノガ、我々ノ希望デアリマス、
繰返シテ申シマスモ云フト、乘馬ト致シマ
シテハ「アングロ、アラブ」邊リ、又其系統
ヨリ引キマシタ馬ガ各方面ノ用途ニ都合ガ
好ク、而シテ其性格ヲ滿ス爲ニハ鍛練ヲ要
シ、其鍛練ノ爲ニハ特殊ナル競馬ノヤリ方
ヲシナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ考ヘル
ノガ我々ノ今度ノ馬競法改正ニ關スル見方
デアリマス、此意味ニ於キマシテ、今度ノ
「アラブ」「アングロアラブ」ノ競馬ヲ致シ、
ソレニ適スル施行方法ヲシト云フコトニ
ナッテ居ルノデアリマスノデ、茲ニ我々ト致
シマシテ、熱心ニ此成立ヲ希望スル譯ナ
デアリマス

我ガ國デ競馬法ヲ初メタト云フコトハ陸軍
デヤット思フテ居リマス、陸軍デ競馬ヲヤ
タ、矢張り軍馬ノ必要カラ來タノグラウト
思フテ居リマス、中間ニシテ、變ジテ農商務
省ノ所管ト變化シタト私ハ考ヘテ居リマ
ス、其間ニ大分弊害モアッテ、競馬法モ改正
サレタヤウナ次第デアリマスガ、過般ノ農
林省ノ政府委員ノ説明ニ依ルト、地方競馬
ト云フモノガ所謂農ニ適當ナ……農業其他
ニ使フ適當ナ馬ヲ拵ヘタイト云フノデ、地
方競馬ト云フモノヲヤラシテ居ル、中央ノ
直接此法律ニ依ッテ定メテ居ル競馬ハ、軍馬
ノ使用ニ堪エルヤウナモノヲ作リタイト云
フノガ主タル御説明デアッタト考ヘテ居リ
マス、地方競馬ノコトヲ御尋ネシタ時ニ、
サウ云フ御説明ガアッタト考ヘテ居リマス、
然ラバ是ハ一體モトノ通りニ、陸軍省デ、
中央ノ競馬ト云フモノハ管轄シテヤッテ行
タ方ガ宜イ位ニ私共ハ思フテ居リマスガ、サ
ウシテ見ルト此中央ノ競馬ハドウシテモ軍
馬……國家ノ用ニ立ツ所ノ軍馬ヲ主トシテ
ヤッテ行カナケレバナラヌ、サウシマス
レバ矢張り今御説明ニアルガ如ク、種々ナ
ル競馬ヲシテ、馬ノ改良ヲ圖リ、軍馬ニ適
スル優良ナル馬ヲ作り出スト云フコトニ付
テハ、自カラ平地ヲ唯疾走スル、早イ奴サ
ヘ拵ヘレバソレデ宜イト云フ譯ニハイカナ
イ、現在ノ競馬ノヤウナモノ許リデハ、陸

軍省ノ政府委員モアレデハ適當デハナイ
ガ、ナイヨリハ結構ダト云ハレタノデヤア
ルマイカト私ハ推測スル、其他ノ色々ノ説
明ヲ承ルト、アレ切りデ到底仕方ガナイ、
何モ效果ハナイモノデヤナイガ、ナイヨリ
ハマシダト云フヤウナ御説明ダト聞イテ居
ルノデスガ、是カラヤッテ行カウト云フ、ヨ
シ五箇所六箇所増シタ所デ、現在ノ駈ケ歩
ク馬許リヲ作ルト云フ……駈ケ歩ク馬ガ數
ガ殖エタカラト云フテ……表モ此處ニアリ
マスノデ、大分殖エタニハ相違アリマス
イガ、二箇所三箇所計算ニ拔ケテ居ルカモ
知レヌト思ヒマスガ……サウ云フコトノナ
イ立派ナ御調べダト思ヒマスガ、現在駈ケ
歩ク馬ガ殖エタカラ、多少日限ヲ増ヤスト
云フコトハドウモ結構デハナイ、却ッテ殖ヤ
スモノニ付テハ、駈ケ歩ク馬ノ中デモ、障
害物ニシテモ一向差支ナク飛ベルトカ、持
久力ノアル奴トカ、今陸軍ノ政府委員ノ述
ベラレタ通りノモノヲ是カラ作ル、競馬場
ヲ拵ヘル、斯ウ云フコトノ結論ニナルト思
フノデアリマス、農林省ノ政府委員ハ、矢
張りサウ云フ御趣旨デアルカ、ドウカヲ一
言チヨット確カメテ置キタイ

○政府委員(戸田保忠君) 農林省ニ於テ考
ヘテ居リマスモノ、詰リ此度ビノ改正案ノ
骨子ハ特殊競走、障礙即チ障礙物競走、速
步競走、或「アングロアラブ」ト云フモノノ

競走ニカテ置イテ、其點ガ馬政上必要デア
ルト云フ點ニカテ置イテ考ヘテ居ル次第デ
アリマス、ソレデ先程チヨット御尋ネノア
リマシタノニ付テ、一言申上ゲテ置キタイ
ト思フノデアリマスガ、此改正ノ理由ハ只
今申上ダタヤウナ譯デアリマスガ、此法案
ニ書カレテ居リマスノハ、御案内ノヤウニ、
極ク慣習的ニ、二三行デ理由ガ書カレテ居
ルモノデアリマスカラ、御尋ネノヤウニ或
ル誤解ヲ、或ハ招ク虞レノアル書キ方カト
思ヒマス、出走馬著シク増加シタルヲ以テ
適當ナル競馬ヲ施行スルト云フヤウニ書イ
テアリマス、更ニ本會議ニ於キマシテ大臣
ガ提案ノ理由ヲ説明イタシマス際ニモ「出
走馬ノ現勢ニ鑑ミ、又馬政ノ大本ニ照シ云
云」ト云フコトヲ申上ダタ答ト思フテ居リ
マス、ソレカラ此委員會ノ開會ノ際ニモ、
大臣ノ提案ノ理由ヲ説明ニ、出走馬ノ増加
ノコトモ斯ウ云フ風ニ言フテ居リマス、「單
ニ出走馬ノ増加ニ依ル現在ノ必要ニ應ズル
ノミニ止マラズシテ、馬政上ノ見地ヨリ見
マシテ、特殊競走ヲ適當ニ實施セシメル必
要ヲ考慮致シマシテ、馬政計畫遂行實現ノ
爲ニ競馬鍛鍊ヲ爲ス必要ノアル馬ノ數ヲ目
標ト致シマシテ云々」ト云フコトヲ申上ダテ
居リマスノデ、改正ノ理由ハ全ク其處ニア
ルカト云フ西尾子爵カラノ御尋ネガアリマ
シテ、只今農林大臣ヨリ本案御提出ノ理由

ニ付イテ御説明ヲ伺ヒマシタガ、出走馬ノ
増加及馬政計畫ノ必要上カラシテ本案ノ改
正ヲ御提出ニナッタ云々トアリマス、サウシ
テ其説明ヲ求メラレテ居リマシテ大臣カラ
説明ガアリ、又私カラモ詳シク馬政計畫上
カラノ、數字ノ三千頭ト云フモノノ、數字
ノ基礎等ヲ詳シク申述ベタ次第デアリマ
ス、サウシテ特殊競走ノ必要ガアルト云フ
コトニ付テ力説ヲ致シタ次第デアリマス、
今軍部ノ方カラ述ベマシタノモ同様ナル次
第デゴザイマス、ソレデ只今出走馬ノ數等
ニ付テモ、チヨット御話ガ觸レテ居リマシタ
ノデ、其點モ申上ダテ置キタイト思ヒマス
ガ、此改正ノ理由ト致シマシテ、只今申上
ダタヤウニ出走馬數ガ年々増加イタシマシ
テ、大正十三年ニハ千二百二十二頭デアリ
マスガ、昭和三年ニハ千四百三十二頭、
五年間ニ約二倍ニナッテ居リマス、ソレカラ
馬産ノ改良ノ必要ノ見地カラ申シマシテ、
特殊競走ヲ適當ニ實施イタシマシテ、馬政
計畫ヲ遂行スルノニ必要ナル馬數、約三千
頭ヲ目標ト致シマシテ、此改正案ヲ提出シ
タ次第デアリマス、所ガ此委員會デハアリ
マセヌガ、今重複云々ト云フ御話モアリマ
シタノデ、此際ニ申上ダテ置キタイト思ヒ
マスガ、私共ガ風説ト申シマスガ、噂ト申
シマスガ、聞イテ居リマスノハ農林省デノ
出走馬ノ數ガ誇大ト申シマスガ、違テ居ル

ヤウナ噂ガ相當分布サレテ居ルヤウニ承
テ居リマス、ソレヲ明ラカニシテ置ク必要
ガアルト思ヒマスノデ、只今印刷物ヲ御手
許ノ方デ御覽ヲ願フヤウニ致シマシタガ、
口頭デ一應申上ダタイト思ヒマス、我々ノ
方デ數ヘテ居リマス、此既設競馬ノ出走馬ノ
數デゴザイマスガ、是ハ今ノ馬政計畫遂行
ノ爲ノ、三千頭ト云フモノハ、全ク別ノモ
ノデアリマシテ、ソレハ區別シテ御考ヲ願
ヒタイノデアリマス、此既設競馬ノ出走馬
ノ數ニ付キマシテ、間違テ居リハシナイ
カト云フヤウナ話ガ相當ニアルト云フコト
ヲ聞イテ居リマスノデ、ソレモモウ少シ説
明ヲ申上ダテ置キタイト思フノデアリマ
ス、是ハ農林省デ言フ出走馬ノ數ト云フモ
ノハ、各俱樂部ノ間デ重複シテ居ルノデア
ルカラ、出走馬ノ實數ハ少イノデ、千六十
六頭ニ過ギナイノデアルト云フ説デアリマ
ス、ソレハサウ云フ計算デアアルカラ、政府
ノ説明ハ間違テ居ルト云フ風説デアリマ
スガ、是ハ敢テ間違テ居ラヌノデアリ
マス、其出走馬ノ實馬數ガ千六百頭ト
云フコトモ間違テ居リマセヌガ、政府
ノ出走馬數ト云フモノモ間違ヒハナイ
ノデアリマシテ、其點ヲモウ少シ申上
ダテ置ク必要ガアルノデアリマス、是
ハ二點ニ分ケテ御話シタイト思ヒマスガ、
第一ハ開期延長ト法人數ノ増加ノ根據トナ

リマシタ所ノ既ニ約三千頭、即チ千六頭ノ
馬ヲ三年間四歳、五歳、六歳ト合セルト年
年ソレダケノ數ヲ合セレバ詰リ年三千十八
頭ハ出ナクケヤナラヌ、是ハ馬政上ノ見地
カラノ論デアリマスガ、其馬ノ數ヲ計算イ
タスニ當リマシテハ、所謂重複シテ居ルト
カ居ラナイト云フ馬數トハ全然關係ガゴ
ザイマセヌ、是ガ現在ノ競馬俱樂部ニ於ケ
ル出走馬數カラノ論デハナイノデアリマシ
テ、先程軍部カラモ御話ノアリマシタヤウ
ニ「サラブレッド」モ含シテ居リマスガ、將
來競馬ニ於テ鍛鍊ヲ要スルト考ヘル馬ノ數
デゴザイマス、ソレヲ今日ノ競馬場デ合セ
ルノニハ日數ヲ増加シ、法人數ヲ増加シナ
ケレバ出來ナイト云フノガ我々ノ考デゴザ
イマスノデアリマスノデ、其點ニ付テハ今
ノ反對論ノ重複シテ居ルトカ、居ラヌトカ
云フコトデ以テ論ズル餘地ハナイノデアリ
マス、唯其點ニ付キマシテ此際ノ際ニ詳シ
ク申上ダタノデアリマスガ、回數ノ割出シ
方ニ付テ若シ出走馬數ト云フモノヲ論ニ入
レレバ入レルノデアリマシテ、其點ヲ明ニ
シテ置キタイト思フノデアリマスガ、一頭
ノ一箇年ノ出走平均回數ヲ五回ト算出シ
テ、ソレカラ今ノ法人數ノ増加ト日數ノ
増加ヲ算出イタシテ居リマスガ、ソレニ當
リマシテハ所謂農林省側デ言フ出走馬數デ
ナク、詰リ實際ノ馬數デ分ッテ居リマスガ

ラ、ソレニ付テ議論ノ餘地ハゴザイマセヌ、從テ千頭ノ馬ヲ走ラセルニ付テノ割出法ニ付テハ其數ハ誇大デアルトカナイトカ云フ問題ハ考ヘル餘地ガゴザイマセヌ、其點ヲ先ツ第一ニ明ニシテ置キマス、ソレカラ序デアリマスガ、往々ニシテ政府ノ論ノヤウニ三千頭ト云フヤウナ多數ノ馬ヲ現在ノ競馬用馬ノ關係カラ言フト過大デハナイカト云フヤウナ論ヲ聞イテ居リマスルガ、是ハ現在ニ於テ「サラブレッド」ノ駢足競走ノミニ主キヲ置イテ論ズレバサウ云フ懸念ガ稍、アルカモ知レマセヌガ、吾々考ヘテ居リマスノハサウデナク、速歩、障礙競走、「アラブ」……「フングロアラブ」ノ競走ト云フヤウニ先程陸軍ノ人カラ詳シク説明ガアリマシタヤウナ競走ヲ主トシテ考ヘルノデアリマスカラ、種馬ノ内地ニ於ケル狀況、産馬ノ狀況ヲ見マスレバ敢テ三千頭ノ馬ニ不足ヲ感ジナイト云フコトガ明ニナルノデアリマス、是ハ只今差上ゲマシタ書類ノ中ノ附記ノ二ト云フ所ヲ御參照ヲ願ヘバ明ニナルト思フノデアリマス、ソレカラ第二ニ政府ガ引用シテ居リマスガ、出走馬數ト云フモノニ付テ此處デ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、是ハ各俱樂部毎ニ實數ヲ示スモノデアリマス、ソレヲ集計シタモノデアリマス、從テ俱樂部ノ相互間ニハ重複ハシタモノガゴザイマス、ソレハ重複シタモノ

ガアリマシテモ、差支ナイト私ノ方デハ考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ出走ノ總延數トハ違テ居リマス、詰リ各俱樂部毎ニ實數ヲ示シタモノデアリマシテ、各俱樂部間ニハ重複シテ居ルモノガアリマス、アッテ差支ヘナイノデアリマス、即チ各俱樂部ニ於テハ現ニ此政府ノ出走馬數ノ調査方法ニ依リマシテ、其馬ノ數ニ基キマシテ毎年ノ競馬ノ番組ヲ實際ニ行テ居ルノデアリマス、サウシテ競馬ヲ開催シ來テ居ルノデアリマシテ、政府ノ數字デナイ、詰リ出馬數ハ千六百頭ニ過ギナイト云フ數字ガアリマスカラ其出馬數ノ千六百頭ト云フモノカラ行キマシテモ、政府デ説明シテ居リマスヤウニ、此競馬法施行後出走馬數ガ約倍ニ増加シタト云フ點ハ同ジデゴザイマス、絕對數ハ今申上ゲルヤウニ違ヒマステレドモ、五箇年ニ倍加シタト云フ點ハ……、略、倍加シタト云フ點ハ同様デゴザイマス、政府デ引用シテ居リマス出走馬數ト云フノハ、之ヲ例テ申シマスレバ甲俱樂部ニ於テハ百五十頭ノ出馬數ガ……出テ走リマス、乙ノ俱樂部ニ於テハ百頭ノ馬ガ走タト云フヤウナ場合ヲ假定シテ考ヘテ見マスレバ甲乙ノ俱樂部ノ間ニハ其場合ニ若シ五十頭同一ノ馬ガ重複シテ居ルト假定イタシマスレバ、出走馬數ハ政府ノ計數デハ二百五十頭トシテ現ハレルノデアリマス、併ナガラ

實際其場合ニ甲乙ノ兩俱樂部ニ於テハ甲ノ俱樂部デハ百五十頭、乙ノ俱樂部デハ百頭ノ馬ガ現實ニ走テ居ルノデアリマシテ、虛空ノ數字デハナイノデアリマス、現實ニ各俱樂部毎ニ行ハレタ出走馬數ノ和ニ外ナラヌノデアリマス、ソレデ各俱樂部ニ於キマシテハ一回ノ「レース」ニ出走スル所ノ馬ノ數及競馬場ノ幅員ノ制限等ノ關係ハ實際走リマス馬ニ依テ議論ナクテハナラヌノデアリマシテ、假リニ甲乙ノ俱樂部ニ於テハ重複スルモノモアリトシマシテモ、實際ニ其俱樂部ニ於テ實際出タ馬ガ百五十頭……

○大津淳一郎君 チョット御發言中デスガ、私ノ質問ニ對スル所ノ答辯トシテハ……數ガ重複シテ居リハセヌカト云フノニ對シテ大變長イ御答辯デアリマスガ、重複シナイト言ヘバソレデ宜シイノデアリマスカラ……

○政府委員(戸田保忠君) 其點ハ能ク承知シテ居リマス……

○子爵西尾忠芳君 今ノ局長ノ御説明ハ本案ヲ通過スルニ非常ニ重要ノ點ノヤウニ思ヒマスカラ暫ク御清聴ヲ……詳細ナ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(戸田保忠君) 大津サンノ御尋ニ對シマシテ只今簡單ニ申上ゲテ置キマシタガ、先程チョット御斷リ申上ゲマシタヤウニ此委員會ノ問題デハゴザイマセヌガ、非

常ナ重要ナ問題ト考ヘマスノデ、甚ダ御迷惑デゴザイマスガ……

○大津淳一郎君 ソレデヤドウゾ御長ク……

○政府委員(戸田保忠君) 成ルベク簡單ニ致シマスカラ一通リ御聴キヲ願ヒタイ、例ヘバ同一ノ馬ト致シマシテモ、甲ノ俱樂部ニモ、乙ノ俱樂部ニモ出マシタ、ソレヲ重複ダト云フ關係カラ除外シテ論ヲ致シマス、斯ウ云フ妙ナ結果ガ起リマス、實際ニ或ル「レース」ニ例ヘバ七頭ノ馬ガ走タ、其場合ニ是ガ甲ノ俱樂部ト、乙ノ俱樂部ト假定イタシマシテ、乙ノ俱樂部デ七頭ノ馬ガ走タト云フノヲ總テ觀客ガ見テ居ル譯デアリマスガ、ソレヲ重複デアアルカラサウ云フモノハ除カナクテハナラヌト云フ前提カラ論ズレバソレハ甲ノ俱樂部ニモ、乙ノ俱樂部ニモ出タモノヲ七頭デ「レース」ヲヤッタ、甲乙俱樂部、ソレガ共通ノ馬デハ其馬ヲ除外スベキ論カラ行ケバ「レース」ハ全ク「ゼロ」ニシナケレバナラヌ、實際ガ立テ居ルニモ拘ラズ其「レース」ハナカッタト考ヘナケレバナラヌ理窟ニナリマス、デアリマスノデ宛ニ角甲乙丙丁十一ナラ十一アリマスレバ實際ニ出テ走タ馬ヲ實ハ主トシテ之ヲ集計シタモノデ論ヲシマセヌト、競馬ノ番組ノ關係モアリマスノデ、ソレカラ幅員ノ關係モゴザイマスカラ、競

馬が圓滿ニ出來ルカ、實行ガ出來ルカト云フ論ヲスル上ニハ詰リ出馬數ダケハ工合ガ惡イノデアリマス、サウ云フ關係カラ出馬數デ我ノ方デハ詰リ初メヨリモ五ヶ年ノ間ノ出走馬ノ増加ト云フコトヲ唯申上ダテ居ルニ過ギナイノデアリマスガ、其數ヲ引イタ計數ニ付テノ議論ガアルノデアリマスカラ、此際申上ゲル次第ゴザイマス、ソレデ尙ホ御參考ニ申上ゲテ置キタイノリマシテモ、ソレカラ又各俱樂部ヲ通ジテノ出走馬數ニ依リマシテモ、既ニ今日マデ一回ノ競争ニ於ケル出走ノ制限頭數ト云フノ競馬場ノ幅員十二間以上ハ十五頭、十五間以上ハ二十頭ヲ一回ノ出場馬數ト致シテ居リマスガ、其出走制限頭數ヲ超過イタシマス爲メニ、分割競争ト云フモノヲ行ハレテ居リマス、ソレハ馬ノ爲メニ危險デゴザイマスカラ、騎士ノ爲メニモ危險デアリマスカラ、甲乙ニ今ノヤウナ場合ハ分ケマスガ、二回ニ分ケルト通常俗ニ言ッテ居リマス、サウ云フコトヲ行ヒマシタノハ大正十四年以來ノ總競走回數ガ三千四百七十九回ノ中デ二百四十四回ゴザイマス、最近三ヶ年ニ於キマシテ、年々約六十乃至八十回位ゴザイマス、即チ競馬場ノ幅員カラノ制限ヲ超ス「レース」ニ於ケル出場頭數ガ多イ爲ニ、二ツニ分ケテヤラセテ居ルト云フヤウナ例

モアリマス、是ハ勿論數字ヲ取リマシテモ、此實數ハ關係シナイ譯デアリマス、サウ云フ譯デ現在ノ法人數及ビ競走日數ニ於テ非常ニ餘裕ガナイト云フコトハ此點カラ言ッテモ明カデゴザイマス、デアリマスガ先程モ申上ゲマシタ通り、此出走馬數ノ點モアルケレドモ、政府ノ此立案ノ趣旨ハ詰リ特殊競走ノ必要馬數上カラ考ヘタ實馬數三千餘頭ヲ標準ニシテ、法人數ノ増加ヲ割出シテ居ルノデアルカラ、此點ニ付キマシテ明カニシテ置キタイと思ヒマス、餘リ長クナリマスノデ省略イタシマスガ、備考ノ第一御覽願ヒマスド、今申上ゲマシタヤウナ政府ノ執ッテ居ル疾走馬數ノ調査ガドウ云フ規定ニ基キテ出來テ居ル、ドウ云フ狀況ノモノデアルト云フコトヲ併セテ御覽願ヒテ置クコトガ便利ト存ジテ居リマス

○赤池濃君 段々御話ガアリマシテ、分リマシタト同時ニ又疑問モ出テ參ッタノデアリマスカラ、二三疑問ノ點ヲ御尋シタイと思ヒマス、只今配付ニナリマシタ競馬法施行ノ馬產ニ及ボシタル效果ト云フ、大變馬產ニ及ボシタル效果ノ表ガ手許ニ配付セラレマシタノデアリマスガ、拜見シマスド、アルカモ知レマセヌガ、先程軍部ノ方カラモ御話ガアリマシタガ、競馬ノ點ニ付マシテ弊ヲ認メルト云フ御話ガアリマシタガ、

我々競馬ニ付テノ弊モ聞イテ居ルノデアリマスカラ競馬法施行ニ付キマシテ與ヘタ利益ハ分リマシタガ、此弊害ノ方モス。カリ示シテ貰ヒタイと思ヒマス、競馬場ノ増加ハ即チ利益ト同時ニ弊モ増ス虞ガアリマスカラ、兩方共ニ考究シテ此案ニ付テ審査シナケレバナラヌト思ヒマスカラ、弊ノ方モ御知ラセテ願ヒタイ、ソレカラ只今出走馬數ニ付テノ詳シイ御説明ガアリマシテ、表モ頂戴イタシマシタ、承ッテ居リマスルト云フト農商務省ノ方ニ於テ三千頭、是ハ理想論ノヤウニ承ッテ居リマス、ソレカラ或ハ此三千頭ト云フコトハ此前承ッテ居ッタノデスガ、三千頭ノ馬ガアル、是デハ足りナイト云フコトデアッテ、非常ニ私共ハソレ程馬ガ増加シテ競馬場ノ數ガソレ程不足デアルカト云フコトヲ思ッテ居リマシタガ、只今承リマスルト三千頭アルンデヤナイ、其中ニ重複スルモノガアルノダト云フ御話デアリマシタガ、三千頭ノ馬ガ茲ニ現存シテ居ルノデナイカラ足りナイト云フコトデハ、ソレハ御説明ガ不十分デアッテ、寧ろ鬼面人ヲ脅カスト云フ理想論ト思ヒマス、大變案ニ云ハレタト云フコトヲ承知シタノデアリマスガ、尙ホ此表デ先刻カラ拜見シテ居ルト、大正七年頃ノ數ヲ見ルト「サラブレッド」ニ付キマシテハ國有民有共ニ併セテ十年間ニ増加シタノハ合計算シテ見ルト百二十頭ニ

ナッテ居ルヤウデアリマス、此表デ以テ見ルト「アラビヤ」「アングロアラブ」「ギドラン」ト云フヤウナノガ十年間ニ於テ千四百頭増加シテ居ルヤウデアリマス、所ガ何ダカ先程カラノ御話ニ依リマスルト現在競馬ニ使ハレテ居ル所ノ馬ハ主トシテ「サラブレッド」ノヤウデアアルカラシテ、此「サラブレッド」ヲ主トスルト云フコト十年間ニ増加スルノガ百二十頭ニ過ギナイト云フコトデ、大變ドウモ御話ニナッタヤウナ風ニソレ程迄ニ馬ガ増加シテ居ルノデナイカト云フコトモ疑ッテ參ルノデアリマシテ、出走馬數ノ事ニ付テノ御説明ハ何ダカ少シク誇大ニ過ギルヤウナ風ナ疑ヲ増シテ來タノデアリマス、尙ホ此點ニ付キマシテ、モ少シ分リ易ク御説明願ヒタイと思ヒマス、是ガ第二點、ソレカラ第三點ニ付テ申シマスルト云フト、現在ノ競馬場デハ不足ト云フ、數ガ不足スル、モウ一ツハ設備ガ惡イト云フコト、之ガ今ノ御話ニアッタヤウデアリマス、即チ障礙物競争ト疾足競争ヲスルニ付テ設備ガ不足ダト云フ、斯ウ云フ説明ガアッタカラデアリマス、サウシマスルト現在アル十一ノ競馬場ニ對シテ障礙物競争ヲスル爲ニ、疾足競争ヲスル爲ニ非常ニ設備ヲ御命ジニナッレテ居ッタカ、其狀況ヲ承ハッテ置キタイ、今競馬ハ所謂「サラブレッド」輕種ノ馬ノ競

争デアッテ、中間種ヤ、ソレカラ軍部デ最も必要トスル疾足競争ニ對シテハ、設備ガ大變惡イト云フナラバ、ソレガ矢張今度ノ唯一ノ理由ト云フ風ニ伺ッテ居ル所ヲ見ルト、現在ノ競馬ト云フノハ一體ドウ云フ風ニサレタカト云フコトヲ第一ニ伺ヒタイ、第二ニハ今後造ル所ノ競馬場ハ、全ク其種類ノ爲ニ御造リニナルカドウカ、サウ云フ爲ニ御造リニナルカドウカト云フ事ヲ伺ヒタイ、サウシマスルト速足競争、障礙物競走ト云フコトニスルト、利益ガ舉ダラレルカドウカト云フコトヲ私ハ一寸伺ウノデアリマスカラ、サウ云フ風ノコトヲ、主トシテサウ云フ設備ヲ以テ競走場ヲ御造リニナルカト云フコトヲ承リタイ、ソレカラ最後ニモウツ伺ヒタイと思フノハ、大分之二付テハ茲ニモ產馬地ノ方デドウナッタ斯ウナッタト、吾々ノ所ヘモ澤山書類ガ参リマスルシ、產馬地ニ於テ非常ニ競馬場ノ必要ヲ唱ヘテ居ルト云フコトガ矢張色ニ聞エテ居リマス、私ハ競馬場ノ事ニ極メテ素人デハゴザイマスケレドモ、此競馬場ハ今度ハ何處ニ御造リニナルカト云フコトヲ承リタイ、產馬地ニ御造リニナルカ或ハ都會地ニ御造リニナルカト云フコトヲ承知シタイ、私ハ極メテ素人考デアルガ、產馬地ニハ恐ラク今二歳以上ノ馬ハナカラウト思フ、私ノ微弱ナル經驗デアリマスガ福島

縣ノ經驗カラ申シマスルト良イ馬、二歳以上ノ馬ト云フモノハ大抵他所ヘ賣レテシマッテ地元ニ餘リナイ、此現狀ニ從ッテ產馬地方面ニ競馬場ヲ設ケヤウト思ッテモ、第一馬ガ澤山ナイト思フ、又競馬場ハ今日迄ノ趨勢デ見マス、大都會附近ニシナケレバ利益ハ舉ラナイト云フコトニナッテ居ル様デアリマス、結局此競馬場ト云フモノハ大都會ノ附近ニ造ラレルノデハナイカト云フ疑ヲ有ッテ居リマス、是等ノ事ハ議案ヲ審査スルニ付テ必要ガアルノデアリマスカラ、競馬場ヲドウ云フ所ニ御造リニナルノデアルカ、產馬地ノ方面カ或ハ都會地方面カト云フコトヲ承ッテ置キタイ、此四ツノ點ニ付テ直グ御話ガ出來マスレバ……若シ急ニ出來ナイナラバ此次ノ期間迄ニ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(植田謙吉君) 競馬ニ伴フ弊害ト云フ事ニ付キマシテ、私ガ何カ申シタ弊害ト云フコトニ付テノ御質問ノヤウニモ取レマシタカラ、私ノ見マシタ所ダケヲ先ツ御答ヘ致シマス、私ノ申シマシタノハ、サウ大シタ事デハゴザイマセヌ、主トシテ私ノ申シマシタノハ、若シ競馬ガ流行リマスル關係上、今迄「アングロアラブ」トカ云フ風ナモノヲ種付ヲシテ居リマシタ牝馬ニ迄動モスルト「サラブレッド」ヲ配ケタガル、サウ云フコトニヤリマシテハ、本當ノ我々ノ方ガ

入用トスル乘馬、之ノ生産ガ少シク減リハシナイカト云フ様ナ現象ヲ來シケタコトガ、吾々ノ理由トスル所デアルト云フコトヲ先ツ御答致シマス、サウ太シタ弊害ト云フ事ヲ申シタノデナイト云フコトヲ申上マス

○政府委員(戸田保忠君) 私ノ考マスル點モ詰リ、弊ト申セバ今ノ「サラブレッド」偏重ノ弊ダト思フノデアル、仍デ其點ハソレデ、次ノ三千頭ト云フコトノ申上ゲヤウガ惡カッタカモ知レマセヌガ、先程申上ゲタノハ今御尋ノアリマシタノトハ全然意味ガ違ヒマスノデ、此實馬數ト言ヒマスノハ、現在ノ既設競馬場ヘ出マス出走馬數ノ關係デゴザイマス、其出走馬數ガ實馬數デ取ル、各俱俱樂部毎ニハ重複シマスケレドモ、各俱樂部毎ノ實母數ノ總計デ取ルト云フコトデアリマス、ソレハ先程申上ゲマシタヤウニ、甲乙丙丁ノ各競馬場ノ實際ノ實馬數ヲ勘定シテ居ルノデゴザイマス、ソレガ先程申上ゲタ三千頭ト云フ問題トハ全然別デ、ソレハ重複ト云フ問題ハナイノデゴザイマス、三千頭ト云フ馬政計畫上ノ數字ニモ重複ト云フ事實ガアルノデヤナイカト云フヤウナ御尋ガゴザイマシタガ、是ハサウ云フ意味デハゴザイマセヌ、三千頭ト云フモノハ、詰リ將來三千頭ノ中ニハ現在ノ競馬ヘ出テ居ル馬モ結局入ルコトニナリマスガ、

全國ニ於キマシテ種馬等ノ關係カラ申シマシテ、ドウシテモ競馬ヘ出シテ能力ノ鍛鍊ヲ要スル馬ノ數ガ少クトモ三千頭ハアリマスト云フ意味ノコトヲ申上ゲタノデアリマス、現在ノ競馬ニ於ケル出走馬數トハ是ハ別ナ問題デアリマスカラ、其點ヲ申上ゲテ置キタイと思ヒマス、ソレカラ御配リヲ致シマシタ表ニ付テノ種類ニ付テ御尋デゴザイマシタ、是ハ後デ御許シヲ得マシテ、馬産課長カラ申上ゲル方ガ技術上ノ問題デゴザイマスカラ、便利ト存ジマス、ソレカラ色々產馬地等デ競馬場ノ増設ヲ希望シテ居ルヤウデアルガト云フ御話ガゴザイマシタガ、產馬地デ競馬ノ増設ヲ希望イタシマスル理由ハ、詰リ競馬ノ施行ニ依リマシテ產馬地ハ何レノ土地ニ置カレルニ拘ラズ、都合ガ好イノデゴザイマス、必ズシモ產馬地ニ置ク、都會ニ置クト云フ問題デナク、產馬其モノハ關係ハ競馬ガ盛ンニナレバ、產馬ハ盛ンニナリマスノデ、其意味デ產馬地ハ喜ブ次第デゴザイマス、實際ニ置キマス關係カラ言ヒマスレバ今ハ三千頭ノ數字ヲ割出シテ五箇所トシテ居リマス、何處ノ地方ニ置クト云フ豫定ヲ以テ之ヲ提案シタノデハゴザイマセヌ、或ハ產馬地ニ集中スル、或ハ都會ニ集マルト云フ方針ハマダ決メテ居リマセヌノデアリマス

○政府委員(東武君) チョット其點ニ付テ、

是ハ唯今政府委員カラ申上ダタノデアリマスガ、大分世間ニ誤解ガアルヤウニ思フノデアリマスガ、本省デハ此競馬法案ガ假リニ通過シテモ、ドコニ置クカト云フコトハマダ全ク白紙デアルノデ、各地方カラシテ陳情トカ、請願トカ云フモノガ出テ居ル、若シ此法案ガ通過シタナラバ、競馬場ニ指定シテ貰ヒタイト云フヤウナ願書ガ數十通參ッテ居リマス、是モ世間ノ誤解ヲ招ク虞ガアルカラシテ、請願トカ陳情トカ云フモノハ、是ハ間テ置ケバ宜イ程度ノモノデアリマスケレドモ、本省ノ方デ知ラナイ色ニノ風説ナドカ行ハレ、或ハ地方デ認可ニナリサウダト云フヤウナコトデ、土地ヲ買フト云フヤウナコトガアッテ、色ニ迷惑ヲスルコトガアッテハナラヌト思ヒマシタカラ、此陳情書等ヲ全部却下シテ仕舞ッテ、サウシテ今日ノ所デハマダ地方ノ何處ニ置クト云フヤウナコトハ何等本省デハ考ヘテ居ラナイ、全ク此馬産改良ノ見地カラシテ計畫シテ居ルノデアリマシテ、其以外ニハ何等考慮ヲ致シテ居リマセヌ、新聞等ニ於テ利權ナシト云フコトヲ頻リニ書イテ居ル、恐ラク此競馬場ノ陳情……若シ此法案ガ通レバ競馬場デモ設ケタイト云フ風ナコトガ民間デモ相當ニ噂サレテ居ルダラウト思ヒマスガ、利權ナシト云フヤウナ問題ハ毛頭アリマセヌ、此法案ニ付テハマダサウ云フ

コトハ今日マデ聞イテモ居リマセヌ、サウ云フヤウナコトヲ我々ハ新聞ナシト書イタリスルコトヲ非常ニ奇怪至極ニ考ヘテ居ル位デアリマスガ、此點ハドウカ若シ何カ御聞込ミデモアリマシタラバ、十分釋明ヲ致シマスルガ、隨分世間デサウ云フコトノ爲ニ、本案ニ非常ノ暗影ヲナサシメルト云フコトハ、我々ハ遺憾ニ考ヘテ居リマス、此點ハチヨット此場合申上ダテ置キマス

○政府委員(戸田保忠君) 先程御尋ノアリマシタ點ニ付テ御答ヲ漏ラシマシタ點ガアリマシタカラ、補足イタシテ置キマス、是ハ特殊競馬ハ競馬場ノ設備ノ關係デ、現在ノ十一ノ競馬俱樂部デハ、毎日開催イタシマスノガ十一回ヲ原則ト致シテ居リマスガ、障害物ヲ一回、速歩ヲ一回ト云フ風ニ從來ヤッテ居リマス、所ガ一方此度ノ計畫デハ、我々ノ方ノ考デハ三千頭ノ馬ヲ走ラセル必要ガアルト考ヘテ居リマスノデ、ソレニ少々改良ヲ命ジマシテモ、其馬ヲ走ラセル餘地ガアリマセヌノデ、ソレデ又一方ニ於キマシテ今度新シイ競馬場ハ、ドウ云フ風ニナッテ居ルカト云フ御尋ハ、是ハ御尋ニアリマシタヤウニ外國ナドデハ障害物競走專門ノ競馬場モゴザイマス、速歩競走專門ノ競馬場モゴザイマスガ、理想トシテハソレガ宜シイノデアリマスガ、日本ノ現狀デハマダ專門ノ競馬場ガ成立スルマデニハ、ド

ウモ見込ガ我々ノ方デハ立チマセヌ、ソレデソレハ主トシテ今マデハ大體ニ於テ、速歩競走ト障害物競走ハ其從タルモノデアリマシタガ、今度ノ改正法ニ依リマスレバソノ主トシテヤリタイト云フ積リデアリマスノデ、專門ノ競馬場ヲ成立サセルマデニハ、實際問題トシテ行カナイト考ヘテ居リマス、從ッテ其命令ノ條件等ニ付テハ、マダ具體的ニ考ヘテ居リマセヌガ、考ヘ方トシテハ二ツアリマスノデ六日間ノ競馬ノ内デ或一日ナリ、二日ナリハ斯ウ云フ風ナ競馬ヲ必ズヤレト云フ風ニ命令シマスガ、或ハ一日競馬ノ回数ノ内デ、例ヘバ五回以上ハ速歩競馬ヲヤレト命ジマス、サウ云フ風ナヤリ方ガアルト思ヒマス、サウ云フ風ニ少クトモ從來ノヤウニ一回ヤ二回デナク、半數以上特殊ノ競走ニ力ヲ入レマスルヤウナ命令條件デ臨ムト云フヤリ方デ行クヨリ外ハナイカト思ヒマス、勿論專門ノ競馬ハマダ日本ノ現狀デハ無理ノヤウデアリマ

○委員長(侯爵四條隆愛君) チヨット今ノニ私聯繫シテ御尋イタシタイト思フ、唯今ノ御説明デ伺ヒマス、アノ「クロスカントリ」ト云フヤウナ外國デ、競馬ガゴザイマスガ、サウ云フヤウナコトニ付テハ全ク御考ハナイノデアリマスガ

○政府委員(戸田保忠君) ソレハ程度ノ問題ニナリマスデスガ、障害物競走ノ理想ト

シマシテハ、今ノ公認競馬デハ目黒ダケガ不整地競走ヲヤッテ居リマス、不整地競走ヲヤラセマスニハ隨分廣イ場所ヲ必要トシマス、遠方マデト云フコトハチヨット内地ノ現狀デハ、實際問題トシテムツカシイノデアリナイカト考ヘテ居リマス、少クトモ障害ノ程度デハイケマセヌ、不整地ノ障礙物競走ヲヤラセタイト考ヘマスガ、御尋ノ「クロスカントリ」ト云フ意味ノ、極ク遠方マデ、遠乗ト云フ意味ニナリマス、競馬俱樂部トシテハ敷地ヤ其他ノ關係ガアリマスカラ、チヨット内地デハドウデアラウカト考ヘテ居リマス

○委員長(侯爵四條隆愛君) チヨット今ノニ聯繫シテ伺ヒタイ、陸軍當局ニ伺ヒマスガ、今ノ競馬場ノ設備デ軍馬ニ適スル馬ノ改良ハ御差支ナイト云フ御考ナンデスカ

○政府委員(植田謙吉君) 今トハ……現在ノ……

○委員長(侯爵四條隆愛君) 詰リ是カラ後ノ競馬場デナケレバ矢張り出來ナイト云フ……

○政府委員(植田謙吉君) イヤ私共ノ方ハ、所謂強健持久ノ性質ヲ養成シ鍛練スルニ都合ノ好イ設備ヲ望ンデ居ル、新シイ競馬場ニ於テ然カリ、尙ホ言ヘバ、既設ノ競馬場ニ於キマシテモ、爲シ得ル限リサウ云フ風ニシテ貰ヒタイト云フ希望デアリマス

○子爵西尾忠方君 其希望ニ副ハレナイカドウカ

○政府委員(戸田保忠君) 其點ハ實現ガ出來ルヤウニシタイト云フ點ニ付テハ同ジ意見デアリマス

○子爵西尾忠方君 然ラバチヨット陸軍ノ御方ニ伺ヒマスガ、其御希望ノ具體的案ハ、大體ニ於テドウ云フヤウナ設備デアリマスカ、此機會ニ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(植田謙吉君) 是ハ又何ト申シマスガ、細カク斯クノ設備ヲ要スルト云フ程ニ協議ハ進ンデ居リマセヌ、今後ノ協議ニ待タウト思ヒマスガ、主義ト致シマシテハ今申シマシタヤウナ主義ノ下ニ研究ヲ進メタイ、斯ウ思ッテ居リマス

○子爵西尾忠方君 現在アル所ノ設備ガイケンイカラ、新ニ改良スルト云フノデアリマスレバ、多少了解イタシマスガ、具體的ノ御計畫ガアレバ現在ノ設備ヲ若干改良修理ヲスレバ出來ルカモ知レヌト云フヤウナ見當ガ付ク上ニ於テ非常ニ參考ニナラウト思ヒマスガ、全然御計畫ハナイノデアリマスカ、大體極ク具體的ノ設備ニ付テノ御説明ヲ煩シタイト思ヒマス

○政府委員(植田謙吉君) 細カク決定ハ致シテ居リマセヌ、主義トシテ先程申スヤウニ平地ヨリ斜形ガ欲シイ、即チ八字形ガ欲シイ、尙ホ一層急角度ノアル所トカ云フヤ

ウナ所ガ欲シイ、併シソレヲ何分ノ一ノ角度ニ、傾斜度ハドノ位、廣サハドノ位ニシヤウトカ云フコトハマダ決定シテ居ラヌ、主義ハ今申スヤウナ廣場ヲ一本槍デ走ルノデナシニ方向モ變換ヲスル其角度モ急ニシタイ、傾斜地モ走ラシタイト云フ希望ヲ有テ居リマス、從ッテ大體ニ於キマシテ馬ノ走ル所ダケ有テ居リマシテ、アトハ人ノ土地デアルト云フ風ナ所デハ到底サウ云フ設備ハムヅカシイト考ヘテ居リス

○政府委員(戸田保忠君) 此際先程赤池サンカラノ御質問ニ對シテ馬產課長ノ御答ヘスルコトヲ御許シヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(侯爵四條隆愛君) チヨット御待チ下サイ

○子爵西尾忠方君 只今私ノ伺ッタコトハ農林當局ノ御説明デ了解イタシマシタ、大體サウ云フヤウナ點ヲ、大體ノ所ヲ伺ヒタイト思ッテ譯デアリマス、ソレカラ次ニ先刻局長カラ御説明ガアリマシタケレドモガ、競馬ガ圓滿ニ施行シ得ルト云フ爲ニ、一競走ノ出走頭數ヲ大體理想トシテハドノ位ニ御覽ニナッテ居ラシヤルカ、一回ノ競馬ノ出走頭數

○政府委員(戸田保忠君) 一回ノ競馬ノ出走頭數ハ、現在幅員ノ十二間以上ハ十五頭、十五間以上ハ二十頭ト云フコトニ定メテ居リマス、ソレデ其以上ノ場合ハ所謂割レル

ト云フ、甲乙二ツニ分ケテ二回ニヤルコトニシテ居リマス、其點ハ大體差支ナイ積リデアリマス

○子爵西尾忠方君 サウシマスト、假ニ今度能力鍛鍊ヲ要スル馬ヲ假ニ三千頭ト致シマスト、矢張現在ノ十一俱樂部デ開催日數ヲ増加シタコトダケデ、只今ノ出走制限ノ内デ三千頭ノ馬ヲ走ラセルコトガ出來ルヤウニ思ヒマスガ、サウハ參ラナイノデゴザイマスカ

○政府委員(戸田保忠君) サウ云フ風ニモ參リマセヌデス、數字デ割出シテ參リマスト、サウ云フ風ニ參リマセヌデス

○子爵西尾忠方君 私ガチヨット計算シテ見マスト、假リニ三千頭ヲ走ラセルトスルト一番競走ガ出頭回數ガ五回、一競走ノ出頭數ガ假ニ二十頭四分ト致シマスレバ三千頭ハ走ラセ得ルヤウニ思ヒマスガ、サウ云フ計算ニハナラナイノデスカ

○政府委員(戸田保忠君) 只今申上デマシタノハ極限デゴザイマシテ、先程申上デタヤウニ極限以上割レル場合モ年六十回乃至八十回アルノデアリマスガ、平均ヲ致シマスレバ七頭ニナッテ居リマス、ソコデソレハ現状ヲ見テ考ヘテ居ルノデゴザイマス、七頭デアリマシテモ、平均ハ七頭デゴザイマスカ一方ニ於テ制限ヲ超過スル場合ガ年ニ六十回乃至八十回モアリマスヤウナ狀況デ

アリマスノデ、制限一杯勘定スルトサウナルカ知レマセヌガ、制限一杯ニ勘定スルトハシマセヌ、ソコハ現状ヲ押ヘテ致シテ居ル、現状ハ七頭平均ニナッテ居リマス、其數デ割出シマシタ關係デアリマス

○子爵西尾忠方君 然ラバ番組編成ニ付テ相當ニ考慮ニナレバ、何モ一競走ガ二ツニ割レナクテモ、大體平均ニ近イヤウナ風ニ實施ガ出來ルヤウニ思ハレマスガ、其點ハ如何デスカ

○政府委員(戸田保忠君) 其點ハ實際問題ト致シマスト、競馬ノ種類ニ依リマシテ今ノヤウナ制限外ニナルコトガ起ルノデアリマシテ、ソレハ必シモ番組ダケデ參リマセヌ、甲ノ俱樂部デハ單走ガ屢、アルヤウナ競走ガ、他ノ俱樂部デハ制限外ニ馬ガ出ル爲ニ、甲乙二ツニ分ケナケレバナラヌ、同ジ種類ノ競爭デモ、サウ云フ風ナ特殊ノ實情ナドモアリマスノデスカ、今仰セノヤウナ簡單ニチヨット參ラヌヤウニ思ヒマス

○子爵西尾忠方君 ソレカラ序ニ此間チヨト實ハ大臣カラ改正ノ事由ヲ御説明ニナリマシタ、馬政ノ大本ニ照シテト云フコトニチヨット戻ッテ伺ヒタイノデアリマス、馬政ノ第二期計畫ト云フモノハ、既ニ三十七八年デスカ、餘程初ニ出來タヤウニ思ッテ居リマスガ、此競馬法ガ制定サレマシタノハ大正十二年、ソコデ馬政ノ第二期計畫ト云

フモノハ大正十三年カラ御著手ニナツタノデアリマスカラシテ、其時ニ既ニ只今御主張ニナル馬政ノ大本ニ照シテト云フ、詰リ特殊競争ノ如キモノハ當然必要ガアルトシテ競馬法ガ制定セラレタモノト思フ、之ヲ今日ハ馬政第二期計畫ハ既ニ半分モ經過シテ居ルヤウナ譯デアリマスガ、此期間ニ於テ何等サウ云フ方面ニ付テ御指導或ハ御要求ガナクテ、今日ニナツテ突如ト此馬政ノ大本第二期計畫ト云フコトヲ御主張ニナルト云フコトハ、チヨット了解シ得ナイノデアリマスガ、其邊ドウ云フヤウナ御都合ニナツテ居リマスカ、承リタイト思ヒマス

○政府委員(戸田保忠君) 競馬法施行ノ際ハ、從來馬券ヲ許サレナカタノヲ馬券ヲ許スト云フコトガ主ナル問題デハナカッタカト思ヒマス、サウシテ認メラレタ俱樂部デ、其前カラヤッテ居タ俱樂部ト云フヤウナモノノ地方的ノ分布ニ付キマシテモ、必ズシモ理想的ニ考ヘラレタモノデナイト思ヒマス、サウ云フ沿革的ノ理由ガ大分アルノデナイト考ヘマス、施行後ニ於キマシテハ、ナルベク持久力ノアル馬ヲ作りタイト云フ意味カラシテ出來ルダケハ注意ヲ致シマシテ、競走距離ヲ長カラシメル、負擔重量ヲ増加スルト云フ方ニ付キマシテハ、出來ルダケ努力シテ居リマシテ、其點ハ初メニ較ブレバ今日ハ餘程進歩シテ理想ノ方

ヘ一步ヅ、近ヅキツ、アルヤウナ狀況デアリマス、此際馬産課長カラ申上デマス

○説明員(横屋潤君) 先程ノ赤池サンカラ、唯今ノ西尾子爵カラノ御話デスガ、丁度赤池サンノ御話ヲ承ハリマシタ所ニ依リマス、
「サラブレッド」ハ此大正七年カラ昭和三年ニ於テ餘リ増殖シテ居ナイデヤナイカ、斯ウ云フ計數的ノ御話デゴザイマシタガ、西尾子爵ハ十二年ニ制定ノ當時ハ「アングロアラブ」競争ガ出テ來テ居ル、突如トシテ「アングロアラブ」競争ガ出テ來タノハ何ウ云フ譯カ、丁度計數論ト種類論ト、同ジヤウナ御質問ノヤウニ思ハレマスノデ、一應此數字的カラ申上デテ見タイト思ヒマス、此「サラブレッド」ノ生産頭數ガ少ナカッタ、餘リ増加シナイデハナイカ、斯ウ云フ御質問ガゴザイマシタガ、此數字通リデゴザイマシテ餘リ増加シテ居リマセヌ、是ハ丁度此十箇年間に於キマシテ、二回許リノ行政整理ノ結果、十二年カラ……十一年カラ十二年ニ移リマス時ニ、丁度所管ノ馬政局ガ廢止サレマシテ、農商務省ニ其時移サレタヤウナ譯デアリマシテ、其時ニ於キマシテ、國有種牡馬デ申シマスト千五百頭ノ馬ガ千二百十五頭ニ非常ニ數ガ少ナクナツテ、尙ホ其時ニ於キマシテ競馬法案ガ通過イタシテカラ、丁度「サラブレッド」ノ弊害ト申シマスモノハ、既ニ内閣直屬時

代ノ四十一年前後ニ於キマシテ、其當時其弊害ハ認メラシタ結果、我々トシマシテハ、此國有馬ニ於キマスル所ノ場所繁養

「サラブレッド」ノ數ニ付キマシテハ、常ニ競馬ガ終了シマシタ後ニ於キマシテ、其繁養頭數ニ付キマシテハ考慮シマシタモノデ、詰マリ質ノ良イモノデアツテ、出來得ル限リ其數ヲ減ラシタイト云フヤウナ考ヲ持テ參ッテ居マシテ、丁種種馬頭數ガ減リマシタ關係上、其頭數ハ自然減タコトニナツテ居リマス、從ッテ國有種牡馬場所、種馬牧場四ヶ所ニ繁養シマシタ所ノ馬、竝ニ地方ニ委託、或ハ普通貸付ケト云フ名義デ貸付ケマシタ馬、又宮内省ニ保管サレテ居リマス所ノ種牡馬等ニ付キマシテハ、其數ハ非常ニ大差ハナイノデスガ、是ノ表ヲ御覽下サイマシテ、民有種牡馬ノ欄ニ於キマシテ、大正十三年、十四年、十五年、昭和二年、三年ノ種付ケ頭數、或ハ產頭數ヲ御覽下サイマス
ト云フト、民有種牡馬ガ如何ニ此競馬ノ爲ニ、其數ガ遞増シテ居ルカト云フ事ガ明カニナルノデアリマシテ、昭和三年ノ種付頭數ヲ見マス、國有種馬所繁養ノモノ三千四十二頭ト云フ事ニナツデアリマスガ、民有種牡馬モ既ニ其頭數ガ二千九百三十二頭、斯ウ云フヤウナ數字ヲ示シテ居ルノデアリマシテ、大正七年ノ種馬頭數ノ四十五頭カラ申シマシテモ、五十三頭ト云フ事ニ

ナリマシテ、今後「サラブレッド」競争ニ付キマシテハ、今後五年此儘置イタナラバ、此二千九百三十二頭ト云フモノハ非常ナモノヲ以テ數字ガ現ハレテ來ルノデヤナイカト、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデゴザイマス、是ニ反シマシテ、其後段ノ、下ノ段ノ「アラブ」「アングロアラブ」「ギドラン」此邊ヲ御覽下サイマス、能ク我々ガ、農林省……農商務省カラ農林省ニ移リマシタ當座ニ於キマシテ、軍部ノ方ニ、馬ニ於ケル所ノ各會合デ御話ノ一端ヲ伺ヒマス、

其中ニドウモ輕馬ニ於テハ先ヅ……使ヘルト云フト、併ナガラ乘馬ニ於キマシテハ唯今本部長閣下カラモ御話ガアリマシタヤウニ、何ウモ未ダ種々ノ點ニ於テ足ラナイ、數ニ於キマシテ、又質ニ於テモ足ラナイト云フコトヲ始終伺ッテ居ルノデアリマシテ、從ッテ出來得ルナラバ、此場所繁養ニ於キマシテ、乘馬ニハ申ス迄モナク輕乘馬、或ハ重乘馬モアリマスガ、此「アングロアラブ」型ノ輕乘馬型ノ數ニ付キマシテハ、質ニ付テモ無論考慮シテ居リマスガ、數ニ於テハ特ニ考ヘテ居マス關係上、大正七年ニ於キマシテハ百二十六頭、是ハ全體ノ種馬ノ數ト致シマシテハ、先程モ申上デマシタヤウニ、千二百十五頭ニナリナガラ、二百八十五頭ノ減數ヲ見マシタ、現在ニアリマシテモ百六十三頭デアリマスガ、現在繁イデ居

ルヤウナ譯デ、非常ニ増數シテ居ルノデア
リマス、又國有ノ貸下デニ付キマシテモ大
正七年ニハ四頭デアリマスガ今ハ四十五頭
繫イデ居ルト云フヤウナ譯デ「アラブ」ア
グロアラブ「ギドラン」系統ト云フモノハ
國有馬ニ於テ場所繁養或ハ貸下デニ於テ増
ス關係上一万一千二百二十七頭ノ、昭和三年
度ニ種付數ヲ見テ居ルヤウナ次第デアリマ
ス、是ハ民有種牡馬ノ方ヲ見マス、殆ン
ド大正七年カラ些少ノ相違ハアリマスガ、
昭和三年ニ於キマシテ多少ノ相違ハアリマ
スガ殆ンド數ニ於テモ變リハナイヤウナ狀
況、從テ國有馬ニ於キマス所ノ「サラブ
レド」系統ニ於キマシテノ、馬並ビニ民有
種牡馬ニ於ケル所ノ「サラブレド」ノ種牡
馬ヲ比較シマシテ見マスレバ、無論小岩井
農場ノ如ク、非常ナ名馬モ繫イデ居ル所モ
アリマスガ、大體ニ於テ國有馬ノ方ガ其體質
ノ優良ナリト云フ事ハ無論申ス迄モナイ事
ダラウト思ヒマスガ、斯ノ如ク民有種牡馬
ニ「サラブレド」繫馬ガ盛シニ施行サレマ
ス所ノ關係上、非常ニ其數ヲ増スト云フ事
ニ付テハ先程本部長閣下ノ御話ノヤウニ、
「アラブ」「アングロアラブ」「ギドラン」ノ、
「サラブレド」以外ノ輕乘馬ノ牝馬ニ、優
良ナル牝馬モ……「サラブレド」ノ詰リ國
有馬デハ頭數ガ少ナイ關係上配合ガ出來ヌ
場合ニハ民有馬ニ走ルト云フ關係モアリマ

シテ、眞ニ優良ナル所ノ「アラブ」「アング
ロアラブ」「ギドラン」ノ種馬ヲ……系統馬
ノ軍馬ヲ得ルコトガ出來ナイ、斯ウ云フヤ
ウナ御話モアリマシタデスガ、矢張り此表
カラ見マスと利益ノナイ所ト申シマス
カ、競馬アタリニ買ハレヌ所ノ馬、民有種
牡馬ニ於キマシテモ、此「アングロアラブ」
ノ系統ノ種牡馬ハ流行ラヌト云フコトニ見
マスと云フト、如何ニ競馬ガ馬質改良ニ付
キマシテ鋭敏ニ動キツ、アルカト云フ所ノ
數字ガ現ハレテ居ルヤウニ考ヘテ居リマシ
タ
○赤池濃君 私ハ先程四箇條ニ付テ質問イ
タシマシタガ、第一ノ點弊害ノコトニ付テ
ハ軍部カラモ農林省カラモ話ガアリマシ
タ、私ハ弊害ハモット澤山アルダラウト思
テ居ルノデアリマス、其方ノ弊害ノコトニ
付テ今日ダケノ御説明ニ止マッテ居リマセ
ウカ、又將來表カ何カデ御示下サルデア
リマセウカ、其點ヲ尙ホ伺テ置キマス、ソ
レカラ曩ニ障害物トソレカラ速步競走ノ獎
勵ガ、是ガ今回ノ競馬法改正ノ重大ナル理
由ニナッテ居ルノデアリマス、ソレニ付キマ
シテ現在ノモノニ對シテハドウ云フ風ナ設
備ヲ御考慮ニナッテ居ルカ、又將來ドウカト
伺ヒマシタ所ガ將來ニ付テハ十分成案ガ出
來テ居ラナイト云フ風ナ答デアリマシタ、
現在ニ付テハ唯不徹底ナ障害物競走ヲ唯一

回スルトカニ回スルトカ回数ノ點ダケデア
リマシテ、ドンナ風ニ現在當局者ガ満足シ
テ居ルカ、満足シテ居ラヌカト云フコトハ
御答ガナクッテデアリマス、唯不徹底ナモ
ノデアッタノデアリマス、サウシマスと、此
法案ヲ御出シニナリマスコトニ付テ、現在
ガ惡イカラセメテ是ダケデモシテヤラウト
云フ御努力ガナイヤウニ承ルノデアリマス
ガ、左様承知シテ宜シウゴザイマスガ、ソ
レカラ出走ノ方ニ付テノコトヲ承リマシ
タ、是ハ屢々御話ガアリマシタガ、要スル
ニ一面ニ於テハ先程申上ゲル通り當局者ノ
理想論ト、ソレカラ又實際ノ頭數ト……實
際ノ頭數ト申シマセウカ、ソレガ三千頭ト
云フコトハ、三千頭デナイト云フ風ニ承知
イタシマシタガ、左様ニ心得ヘテ宜シウゴ
ザイマスガ、ソレカラ尙競馬場ヲ作ルト云
フコトハ、ソレハ今回ノ最も重要ナル内容
ダト思ッテ居リマスガ、之ニ付キマシテド
チニ……產馬地ニスルカ、若クハ大勢人ガ
集ル所ニスルカト云フコトハ、是ハ產馬思
想ヲ一般ニ普及サセルカドウカト云フコト
ニ付テ、非常ニ重要ダト思ヒマスカラ御尋
イタシマシタケレドモ、之ニ付テノ御答ガ
アリマセヌ、併シ是ハ大方針ヲ御決メニナ
ルノガ當然ダト私ハ思フノデアリマスガ、
其事ヲ伺ヘナイノハ甚ダ残念ニ思ヒマスカ
ラ、ココニ左様ナ御尋ネト、ソレカラ遺憾

ノ意トヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス
○政府委員(戸田保忠君) 弊害ノ點ニ付キ
マシテハ別ニ外ニ餘リ考ヘテ項目ヲ申上ゲ
ルヤウナモノヲ腹案ヲ持ッテ居リマセヌ、ソ
レカラ障害物競走等ノ設備ニ付テノ御話デ
ゴザイマスガ、障害物競走ハ今ハ置障害ト
云フノデアッテ居ル俱樂部ノ數ガ多イノデ
ゴザイマス、目黒俱樂部ダケガ不整地競走
ヲヤッテ居リマス、ソレカラ或ハ借地ナド
デヤッテ居ル競馬場ガゴザイマスガ、サウ云
フ點ハ移轉ナドノ機會ガアレバ不整地競走
ヲ行ハシメタイト云フコトハ考ヘテ居リマ
ス、ソレカラ速步競走ノ方ハ格別ノ設備ガ
要リマセヌノデ繫駕競走ニナレバ宜イノデ
アリマス、ソレデ單純ナル速步競走デナク
速步繫駕競走ヲ我々ハ勸メテソレヲヤラセ
ルコトニ努メテ居リマス、デスカラ現在ノ
障害物ニ付キマシテモ障害物ハ速步競走ニ
於キマシテ理想ニ近カラシメルヤウニ努力
イタシタイト云フコトハ勿論考ヘテ居リマ
ス、唯「アラブ」「アングロアラブ」ノ競走ハ
現在デハ「サラブレド」ヲ主トシタ競走デ
アリマス爲ニ、現状デハナカ……十分這入
リ惡クイト云フヤウナ關係デハ今中山デヤ
テ居ルダケデアリマスガ、是ハ矢張り絶エ
ズ「アラブ」「アングロアラブ」ノ競走ガ出來
ルト云フヤウニナリマセヌト、ナカナカ勝
利ナドノ關係ガムヅカシイ爲ニ困難デアリ

マスガ、是モ我々ノ方デ考ヘテ居リマス案ノヤウニ「アラブ」「アングロアラブ」ノ競走ガ絶エズ行ハレテ居ルト云フヤウニナリマスレバ、益、多クナル性質ノモノデアラウト考ヘマス、偶、「サラブレッド」ノ中ニ混テ走ルト云フノデハ勝利ガ得ラレナイカラ、チヨット出様ガ無イト云フコトニナリマス、ソレカラ競馬場ノ位置ノ問題デアリマスガ、ハハ數字上カラ來テ居リマスノデ、ドコト云フコトヲ豫定シテ考ヘテ居ルノデアリマセヌカラ、先程ノヤウニ申上ゲタノデアリマスガ、既設競馬ノ配置ノ關係モ考慮シナクチャナラヌト思ヒマス、ソレトノ關係ト、ソレカラ馬產地トノ關係ニ付キマシテハ五箇所全體ニ付テ馬產地トノ關係ヲ考ヘナクチャナラヌト思ヒマス、個々ノモノニ付テ馬產地ニ置クカ或ハ便利ナ地ニ置クカト云フコトヲ考ヘル必要ハナイガラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ數字ノ點ニ付イテ更ニ御話ガゴザイマシタガ、是ハモウ一度申上ゲテ置ク必要ガアルト思ヒマスガ、出來シテ云々ト云フコトハ現在ノ俱樂部ニ於テ馬ノ走、テ居ル關係デゴザイマス、ソレハ主トシテ「サラブレッド」ノ競走ガ行ハレテ居ルノデアリマス、我々ノ考デハ「サラブレッド」ノ競走ダケデハイケナイト云フ意味カラ考ヘマシテ、ソナナラバ同ジ「サラブレッド」デモ特殊競走ノ方ヲヤラセルト云フ

考ヘカラ見レバドウシテモ三千頭ノ馬ハ絶エズ必要デアルト云フ考ヘ方デスカラ、現在出テ居ル數ダケノ方ハ論ニナラヌ譯デス○政府委員(東武君) 唯今ノ遺憾ノ點ト云フコトガアリマシタガ説明ガ遺憾デアルト云フノデアリマスルカ、此提案ノ理由ガ薄キリ致シマセヌガ、私一言赤池サンニ申上ゲタイト思フノハ……甚ダ失禮デスガ、此今回ノ此提案ヲシタ趣意ハ全ク產馬改良ノ意味デ起テ居テ、外ニ一ツノ先ヅ大體ノ主張ト云フモノカラ出テ居ルノデアリマシテ、產馬地方ガ大變要求ヲ致シテ居ルト云フコトハ、ドウシテモ此產馬ノモウ少シ改良發達ヲスルト云フコトニハ、陸軍當局者ノ説明ヲシタヤウナ主義ニ進マナイト云フト、實際ノ實用馬ト云フモノト今縁ガ遠クナテ居ル、是ガ大體ノ骨子ニナッテ參テ居ルノデアリマスガ、其點ガ重要ナ此提案ノ理由デアリマス、同時ニ競馬場ノ場所ト云フコトニ付キマシテハ是ハ私ハマダ本省ノ方デハ白紙デアルト申シテ居ルガ、此豫算ノ大體カラ申シマスルト云フト、大藏省ノ政府委員ガ衆議院等ニ説明ヲ致シテ居ル通り、競馬法ノ改正ニ依ッテノ收入ハ全部馬產地方ノ馬事振興ニ使フト云フ、此原則ノ下ニ今回豫算ナドモ出來テ居ル、今回ノ豫算ナドモ新規施設ガ百四十萬圓バカリノモノハ

全ク此競馬ノ收入ヲ元ニシテヤッテ居ルノデアルカラシテ、此競馬法ノ改正ト同時ニ場所ガ増加シテ來レバ隨テ年々ノ收入ガ多クナル、其收入ノ多クナッタモノハ總テ產馬事業ニ使フト云フノデアルカラシテ、產馬地方ノ者ハ非常ニ此提案ノ通過ヲ歡迎シテ居リマス云フヤウナコトニナッテ居ルノデアリマスガ、是等ノ點モ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマスシ、ソレカラシテ收入ノ點モ、若シ中間種「アラブ」「アングロ」ト云フヤウナモノニ力ヲ極力盡スト云フコトニナリマス、馬產地ノコトモ考慮シナケレバナラヌシ、馬產地ダケノ考慮ヲスルト收入ト云フモノガ十分揚ラヌト云フコトニナリマス凡ソ五ヶ所位ガ極メテ適切デアラウ、サウ澤山ニ致スコトハ出來ヌガ、五ヶ所位デアレバ其緩和ガ出來ル、斯ウ云フヤウナ趣意デ提案ヲ致シテ居ルノデアリマス、尙ホ十分御審議ヲ仰ギタイノデアリマス、是ダケ一言申上ゲテ置キマス

○赤池濃君 私ガ一番承リタイノハ、速步競争ト障礙物競走ヲ絶叫爲サル嫌ヒガアルノデ、ソレデハ現在競馬場ニ對シテドウ云フコトヲ御ヤリニナッテ居ルカ、ソレニ付テハ不足ダカラ斯ウ云フコトニスルト云フコトナラバ、非常ダ論理ガ一貫スルト思フノデス、ソレデハ現在ノ競馬場ニ對シテドウサレタカト云フコトヲ主張シテ伺ツタ所ガ、ソレニ對シテ説明ガナクテ、唯回数ヲ殖ヤストカドウトカ斯ウトカ云フ話デアリマシテ、ソレデ伺ツタノデアリマス、ソレカラ今政務次官カラモ御話ニナリマシタガ、サウスルト政務次官ノ御話ハ大體產馬地方ノ方ニ於テ御設置ニナル御内意ダト、斯ウ云フ風ニ大體推定シテ宜シウゴザイマスカ○政府委員(東武君) ソレハ考慮シナケレバナラヌト云フ程度ニ止メルヨリ外ナイト思フノデス、實際「アラブ」「アングロアラブ」ノ馬ハ澤山アルケレドモ、今ノ「サラブレッド」種ノ馬ハ、先ヅドウカト云フト鑑賞用、或ハ富豪階級トカ云フ人ガ有テ居ル、ソコヘ持ッテ行テ「アングロアラブ」ノ血液ノ這入ッタ馬ハ競争ガ出來ナイ、幾ラ頭數ガアツテモ、ソコニ這入ラヌト云フコトガ出來テシマッテ居ルカラ、其弊ヲ矯正スルニハドウシテモ馬產地ニ多ク產出スル系統ノ馬ノ居ル所ニ、矢張り相當ノ施設ヲスルト云フコトハ、是ハ大變必要デアルト思ヒマス、併シ今之ヲ限定スルト云フコトハ申上ゲラレヌト云フコトダケ一言申シテ置キマス○政府委員(戸田保忠君) 先程ノ御話ノアリマシタ速步競争等ニ付キマシテ、從來ドウ云フ風ニ改善ナリ監督ナリヲ進メテ來マシタカニ付テ、主務課長カラ申上ゲタイト思ヒマスカラ一言御許シヲ願ヒタイノデスガ……

○委員長(侯爵四條隆愛君) 如何デアリマセウカ、時モ大分過ギマシタカラ、次回ノ時ニ又説明ヲ伺フコトニ致シマシテ、本日ハ此程度デ終リタイト思ヒマス、次回ハ決マリ次第申上ゲマス

午後零時二十四分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵四條 隆愛君

副委員長 子爵西尾 忠方君

委員

子爵裏松 友光君

子爵鍋島 直繩君

男爵小原 睦吉君

赤池 濃君

大津淳一郎君

板谷 宮吉君

鷺澤 總明君

政府委員

陸軍中將 植田 謙吉君

農林政務次官 東 武君

農林省畜産局長 戸田 保忠君

説明員

陸軍騎兵中佐 濱田 陽兒君

農林技師 横尾 潤君